

コロナ時代を強く生きる皆さんへ

日本において、2020年の新型コロナウイルス感染症の確認から約2年がたとうとしています。この間、体育祭や文化祭、部活や修学旅行など様々な行事や勉強においても制限のある生活を求められてきたことと思います。そして、それは今も続いています。

もうこんな生活に疲れたとか、いろんな行事が無くなって寂しいと思う人も多いことと思います。そう思うのは当然です。しかし、このコロナウイルスは目に見えないだけにまだしばらく注意していく必要があると思います。

そんな中、皆さんに一つ提案があります。家の中での遊びはゲームなどが中心になるかもしれませんが、この時期に本を読んでもというのもいいと思います。私も小学・中学時代に読んだ本はいまだに心に刻まれて、時々思い出しながら今でも自分の宝物になっています。

本の中の主人公は、時々あなたに語りかけたりします。時には、あなたが物語に入り込み主人公になることもあります。コロナで思うようにならないことも多いですが、そんな時少しでも本を読んで、自分だけの時間を楽しんでみたらどうでしょう。

本を読むということは、自分だけの宝物に出会えるチャンスでもあります。皆さんは、新しい時代を生きています。誰も体験したことの無い時代です。そんな皆さんにエールと図書カードを送ります。

皆さんが、自分の大切な一冊の本と出会えたら素晴らしいことですね。

『コロナ時代に読んだ本が、記憶と未来への懸け橋となることを願って』

令和3年10月6日

社会福祉法人恵仁会

理事長 池田志保子